

やまゆり通信

6月



令和5年6月1日

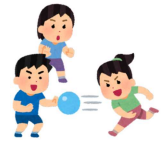
5月10日～12日の3日間、9年生1名と引率者2名で東京方面へ修学旅行に行ってきました。少人数のため、旅行会社の添乗員さんにつきませんが、事前の計画から生徒と後期課程の先生で丁寧にシミュレーションを行い、有意義で、たくさんの経験を積む修学旅行となりました。少人数の良さを活かして、生徒が臨機応変に対応して行動する姿は頼もしく、また日々の担任や他の先生との関わりや信頼関係が伝わってくるものでした。1日目、京都駅に向かう特急電車で、天川小中学校の9年生と一緒にいました。オンラインで交流をしていた彼らは、同じ学校の同級生という感じでカードゲームを楽しんでいました。このような場面でも日頃の交流授業の大切さを感じました。東京に到着して、最初に向かった先は「東京大空襲戦災資料センター」でした。ここで10万人の方が犠牲となった東京大空襲について、当時14歳だった女性の方に体験を語っていただきました。今でも飛行機の音やサイレンの音を聞くとフラッシュバックすることがあるそうです。「戦争は人の感覚をマヒさせる異常な状況です。」二度とあってはならないと強く語っておられたのが心に残っています。戦争は昔の話ではありません。今もウクライナや西アジア、アフリカ等で戦争や紛争が続いています。無差別に人の命をうばう戦争はどんな理由があっても起こしてはいけないのです。平和を守ることの大切さを語り続けられている方との出会いは貴重な機会となりました。その後向かった浅草寺では、日頃の学習の成果を目の当たりにしました。外国からの観光客の方に英語で話しかけ、インタビューしていました。相手の方の言っていることもしっかり聞き取れていて、積み上げた力をしっかりと発揮していました。普段できないことにチャレンジすることの勇氣と行動力の大切さを教わりました。もう一つ忘れられない出来事が、11日の早朝、千葉県を震源とする震度5強の地震を経験したことです。ホテルが9階ということもあり大きな横揺れが続きましたが、無事でよかったです。緊急地震速報で起こされ、揺れに備えましたが、正直何もできなかつた、ただ揺れがおさまるのを待つだけという感じでした。大地震が起これば「ああしよう、こうしよう」とシミュレーションをしていますが、なかなかできないと実感しました。国会では田野瀬太道衆議院議員さんとお会いさせていただきました。国会や三権分立の働きについて、丁寧にわかりやすくお話しいただきました。少人数ということもあり、普段では入れない部屋等に入れていただいたりと、恐縮至極の見学となりました。あと夢の国でも本当に素敵な時間を過ごすことができました。大変充実し、大きな経験を積むことができた修学旅行となりました。

6月行事予定

- 1日(木) スクールソーシャルワーカー来校
- 2日(金) 上・下北山スポーツ交流会
- 3日(土) 郡中学校体育大会(7・9年生卓球)
- 5日(月) 校内学力診断テスト(9年生)
- 6日(火) PTA役員会(進路部会)
- 13日(火) 学校巡回公演事業(尺八演奏)
- 15日(木) スクールカウンセラー来校
- 17日(土) 郡連合PTA総会(黒滝村)
- 20日(火) 学校公開・学校運営協議会
- 21日(水) 上下合同研修会
- 23日(金) 諸費集金 期末テスト1週間前
- 30日(金) 期末テスト(1日目 後期課程)

上・下北山スポーツ交流会

上・下北山の前期課程の児童が2日にスポーツ交流を行います。今年度から交流陸上ではなく、子どもたちが企画・運営するスポーツ交流会となります。今年は上北山を会場に、スポーツ雪合戦とレクリエーション大会の2本立で行われます。下北山の子どもたちとのふれあいや交流をしっかりと楽しんでほしいです。オンライン交流だけでなく、直接であってふれあうことを大切にしたいですね。



水泳指導・プール清掃

先日プール清掃を全校で行いました。みんな時間いっぱい、自分たちで考えながら一所懸命頑張る姿には感動しました。毎年子どもたちと一緒に泳いでいると、本当に子どもたちは水泳が好きで、楽しみにしているのだなというのが、笑顔から伝わってきます。水泳指導の際には、複数の教員で授業を行い、安心・安全を確保したうえで指導を行います。

